



PCI DSS v4.0 へのカウントダウン

PCI DSS v4.0 の公開に伴い、データセキュリティ基準担当ダイレクター、Lauren Holloway は今後数か月に予定されているイベントについての再確認と更新情報を共有します。

リリースのタイムライン

PCI DSS v4.0 および「v3.2.1 から v4.0 への変更概要」は 2022 年 3 月末リリースが予定されています。The Report on Compliance (ROC) テンプレートと準拠証明書 (AOC) も同じタイミングでリリースされます。さらに自己診断票 (SAQ) はその後まもなくリリースされます。

(注意) 現在、守秘義務契約 (NDA) の下で参加団体 (Participating Organizations)、QSA、ASV に提示されている PCI DSS v4.0 ドラフトは PCI DSS v4.0 の公式版が PCI SSC ウェブサイト上でリリースされるまで PCI SSC ポータルを通じレビュー用に利用可能です。

直近 2 回の RFC (PCI DSSv4.0 ドラフト (2020 年) 及び PCI DSSv4.0 バリデーション文書ドラフト (2021 年)) からのフィードバックに対応する「RFC フィードバックサマリー」は 2022 年 3 月末に PCI SSC ポータルを通じ RFC 参加者に提示されます。

世界中での PCI DSS の適用を支援するために PCI DSS v4.0 および「v3.2.1 から v4.0 への変更概要」はいくつかの言語に翻訳されます。これらの翻訳版は 2022 年 3 月から 6 月にかけてリリースされる予定です。

PCI DSS v4.0 評価を支援するための QSA および ISA のトレーニング は 2022 年 6 月に予定されています。追加的なサポート文書のリリースは 6 月末までに完了させる計画です。

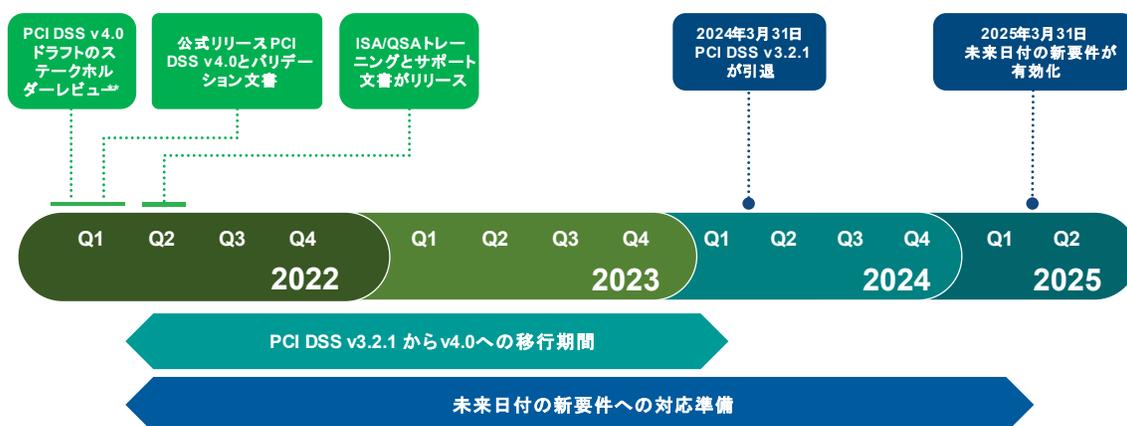
移行期間

PCI DSS v3.2.1 は v4.0 が発行された後 2 年間有効です。移行期間は 2022 年 3 月から 2024 年 3 月 31 日まで、事業者が v4.0 に伴う変更点、改訂されたレポートのテンプレートや書式への理解、そして更新要件に準拠するための対応計画準備のために提示されます。2024 年 3 月 31 日付をもって PCI DSS v3.2.1 は引退し v4.0 のみが有効な基準となります。

新しい要件

v3.2.1 及び v4.0 双方が有効である移行期間に加え、事業者は 2025 年 3 月 31 日まで v4.0 で予め指定された新要件についてはベストプラクティス期間として扱われます。この日付以前は、事業者はこれらを新規要件としての確認を求められません。しかし、この日付までに新規要件として実行する、また評価を受ける準備をしておくことは推奨されます。2025 年 3 月 31 日以後は、これらの新要件は有効となり PCI DSS 評価対象の一部として見做されなければなりません。

PCI DSS v4.0 実施タイムライン*



*すべての日付は現時点での予定であり、今後変更が有り得ます。

**プレビューは参加団体 (Participating Organizations QSAs, ASVs) を対象に行われます。

PCI SSC は年間を通じ、PCI DSS の変更点に対するコミュニティの理解の向上を支援するため追加的な情報を提示してまいります。PCI SSC は podcast、ビデオ、ブログなどを含む追加リソースを活用して事業者の v4.0 移行をガイドし支援してまいります。PCI Perspectives のブログ購読は下記リンクからお申込みください。

[Subscribe to PCI Perspectives Blog \(pcisecuritystandards.org\)](https://pcisecuritystandards.org)